



2025年5月16日

各 位

会 社 名 ク ニ ミ ネ 工 業 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 國 峯 保 彦
(コード番号: 5388 東証スタンダード)
問 合 せ 先 取締役副社長 管理部長 勢 藤 大 輔
(TEL 03-3866-7256)

「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について（アップデート）

当社は、本日開催の取締役会において、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について現状の分析・評価を行い、改善に向けて更新した内容を決議いたしましたので、以下の通りお知らせいたします。

1. 現状分析・評価

2025年3月期は営業利益率が0.2ポイント改善したものの、ROEは前期と同じ5.0%で資本効率の改善には至らず、当社が想定している株主資本コスト5%～6%（CAPM）の範囲内に留まりました。ROEの水準が一般的な投資家の期待する8%を下回っていることが、PBRが1倍を下回って推移する要因の一つであると認識しております。

また、株主・投資家の皆様に今後の事業戦略について十分な理解を得られていないために、成長期待を醸成できていないとの評価をしております。

項目	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
売上高 (百万円)	14,593	15,257	15,325	15,675	15,707
営業利益 (百万円)	2,246	1,666	828	1,231	1,280
営業利益率 (%)	15.4	10.9	5.4	7.9	8.1%
当期純利益 (百万円)	1,681	1,301	842	1,043	1,078
ROE (%)	9.0	6.5	4.1	5.0	5.0
PBR (倍)	0.85	0.63	0.56	0.63	0.58
1株当たり配当金 (円)	30	30	40	40	40
配当性向 (%)	24.6	29.7	60.4	47.8	45.4

2. 改善に向けた方針・目標

現状評価を踏まえ、昨年度に引き続き以下のとおり、収益力の向上・株主還元・IRの充実を柱とした各施策を着実に実行し、持続的な企業価値向上とPBRの改善に努めてまいります。また、意思決定の迅速化を図るために、昨年度に経営体制の変更を実施しております。

3. 改善に向けた具体的な取組み（昨年度の取組みを継続）

① 収益力の向上

- ・ 今期を最終年度とする中期経営計画（2026/3 期：売上高 16,921 百万円、営業利益 1,616 百万円）を着実に実行し、次期の中期経営計画（2027/3 期～2029/3 期）期間中に株主・投資家の皆様が一般的に企業に求める期待リターン（株主資本コスト）値 8 %を上回る R O E の達成
- ・ 特に以下の高付加価値案件の確実な取り込みに注力し、収益力を向上させてまいります。
 - 『低レベル放射性廃棄物処理事業』（ベントナイト事業）
 - 『種子コーティング受託案件』（アグリ事業）
 - 『水素ガスバリア用途工液』（クレイサイエンス事業）
- ・ 従前より行っている産学連携を通じての研究開発投資と人材投資を一層加速させ、以下の案件を核としてクレイサイエンス事業の柱に育て、事業構造の転換を進めてまいります。
 - 『細胞培養ビジネス』（クレイサイエンス事業）
 - 『蓄電デバイス材料』（クレイサイエンス事業）

② 株主還元

- ・ 配当性向30%を目安として業績に連動した利益還元を行い、また 1 株当たり配当金の下限を 40円として安定的な配当の維持にも努めることを基本方針としており、2025年 3 月期の配当性向は45.4%を予定しております。

③ I R の充実（認知度の向上）

- ・ 配当金の下限の設定や、ホームページによる積極的な情報発信、プレスリリース配信サービスの利用等により当社の認知度が向上したと推測され、株主数は以下の通り大幅に増加しております。

基準日	2023/3 期末	2024/3 期末	2025/3 期末
1 単元以上株主数（名）	3,275	4,534	7,431
年間増加数（名）	—	1,259	2,897

以 上